

アンケート結果のご確認

ご意見・ご要望・課題・提案

- ・乳がん以外に関しては順調に進んでおります。胃がんにかんしては、いまだ化学療法の必要のない症例に限っております。今後は、内服抗がん剤の症例について地域の先生方のご理解をいたうえで進めていく必要があると考えております。
- ・ 1．病院側の医師も診療所側もその意義やメリットについて今一ついいようには解釈していない。外来患者数の多い病院ではメリットはあるかもしれないが、中小の病院ではあまりメリットがない、と感じている医師もいる。
2．元々かかりつけ医がいる患者では、その医師が連携してくれる場合はいいが、そうでなければ他の医師との連携を嫌がる。また、かかりつけ医がいない場合、患者も連携の意義を理解できないことがある。啓発活動がもっと必要。
3．連携ノートの、サーベイランスの記入枠が少なくて書きづらい。1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月というように書かれているが、「 ヶ月」というように空欄にしておく方が病院側も診療所側も扱いやすいのではないかと。決められた時に来るだけでなく、術後しばらくは状態安定せず頻回に来ることが多いので記入枠を空欄にし、その数を多めに設けておく方が書きやすく、情報提供しやすい。
4．化学療法を行っている場合は有害事象のことを考えると、連携に不安を覚える。数か月して安定すればいいのかもしれないが---

がんの地域連携パス全体のご意見等

- ・がんパスを用いることで連携機関が把握できるメリットあり。
複雑にせず、できるだけ簡易に運用することが肝要と考えます。